

AI 利用に関する注意喚起

令和 7 年 2 月 28 日
副学長（教育担当）
加 藤 光 保

筑波大学では、生成 AI の適切かつ有効な活用を促進するため、「教育における生成 AI 活用のガイドライン 2024」を策定しています。学生の皆さんは、下記の URL からガイドラインを改めて確認し、学修生活の充実に役立ててください。

<https://www.tsukuba.ac.jp/about/action-management/>

近年、AI 技術の進展とともに、多くのオンラインサービスが提供されています。しかしながら、一部のサービスでは、**利用者の入力データが意図せず第三者に共有されるリスク**が指摘されており、注意が必要です。以下の点に留意し、安全に活用してください。

1. データの取り扱いに関するリスク

インターネット上のサービスでは、**入力された情報が外部に漏洩するリスク**が存在します。特に、個人情報、未公開の研究データ、機密事項などは慎重に取り扱い、信頼できるプラットフォーム以外には入力しないでください。

2. 出力結果のバイアスと正確性

生成 AI を含む一部のサービスでは、回答に偏り（バイアス）が含まれていたり、不正確な情報が提示されることがあります。特に、研究や学術活動においては、必ず他の信頼できる情報源と照らし合わせ、慎重に活用してください。

3. 情報セキュリティと倫理的な利用

どの国のサービスであっても、情報がどのように処理・管理されるかは不透明な場合があります。また、SNS やオンラインショッピングサイトを含むインターネット上のサービス全般において、個人情報の悪用、フェイクニュースの拡散、安全保障上のリスクなどが問題となっています。これらを十分理解し、適切な利用を心がけてください。

4. まとめ

本学では、学生の皆さんが安全に学修・研究活動を進められるよう、以下の方針を採用します。

- ・AI ツールを利用する際は、データの取り扱い方に十分注意し、個人情報や機密情報を入力しない。
- ・信頼できるプラットフォームを利用し、生成 AI の出力結果の正確性を必ず確認する。
- ・情報セキュリティに関する教育を強化し、潜在的リスクに対する認識を深める。

本学では、インターネット上のサービスの適切な利用を推奨し、引き続き情報セキュリティに関する注意喚起を続けてまいります。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

教学デザイン室・生成 AI タスクフォース